

「蔵王鉱山歴史資料館」のご案内

蔵王鉱山歴史資料館は、令和2年10月25日（日）、蔵王猿倉の地、旧中川第二小学校跡地に開館しました。開館後、新聞記事、テレビの放送を見た人、更には上山市報に掲載された記事をご覧になった方々が多数見学に来館しています。同資料館の見学者は、令和2年11月末日現在で180人余に上っています。同資料館の所在地、開館スケジュール、見学手続き及び展示資料の概要は、以下のとおりです。

- 資料館の所在地
〒999-3114 上山市永野字蔵王山 561-27（蔵王猿倉・元中川第二小学校跡地）
（建物の目標）蔵王エコーラインの蔵王ラインとの分岐点に建つ蔵王エコー山荘の道向かい、建物の全景は、写真のとおり。）
- 開館スケジュール
令和2年は、冬期間に入るため11月27日をもって休館としました。以後、翌3年4月24日頃まで休館します。
令和3年4月25日以降は、11月初旬までの間、金、土、日及び休日の午前10時から午後4時まで開館します。（翌4年以降も同時期に開館します。）
- 見学手続き
令和3年4月25日以降は、特別の事情が生じない限り、前記の開館している日には、管理人が常駐していますので、予約なしで見学が可能です。入館料は、当分の間無料です。
問い合わせ先
蔵王猿倉レストハウス（☎023・679・2211）にお寄せ下さい。
- 主な展示・販売資料
(1) 蔵王鉱山の歴史年表
(2) 蔵王鉱山の歴代役職者名簿
(3) 鉱山採掘時の事業活動、生活ぶりなどを映像で紹介したDVD（館内テレビで鑑賞可、映像は20分程度、館内において1枚1,000円で販売）
(4) 社宅入居者地図及び会社事務所内の課別配置図
(5) 閉山の原因となった元山探鉱所の「坑内火災状況報告書」
(6) 鉱山の会社で発行した社内報「やまびこ」、労働組合発行組合誌「密閉」
(7) 元中川第二小学校発行の文集「さへんど」
(8) NPO法人発行の会員通信紙「蔵王通信・硫黄」
(9) 蔵王鉱山神社・氏子会報
(10) 製錬場地区のジオラマ（写真のとおり）及び蔵王山のジオラマ
(11) 元山探鉱所の坑内地図
(12) 製錬所における硫黄の焼取窯の構造図
(13) 採掘当時使用したカンテラ等の工具
(14) 永松鉱山等の他山歴史資料館資料
(15) 絵画（藤山愛一郎社長、葛谷栄三元中川第二小学校教諭の制作した油絵、計3点）
(16) 「蔵王鉱山歴史資料館」建設等に対する協賛団体・支援者（芳名）
(17) 鉱山の仕事や生活ぶりを撮影した写真パネル（写真のとおり）
(18) 「蔵王鉱山の思い出・第1集」（150ページ、1冊1,500円で販売）
(19) 閉山50周年記念写真集「硫黄」（25ページ、1冊1,000円で販売）

写真等の展示状況▶

製錬場地区のジオラマ▼



写真の展示、テレビ、ショーケースの状況▲

蔵王鉱山歴史資料館全景▲



山神社の雪囲いを実施、二期工事を協議



令和2年11月3日（文化の日）、NPO法人では、役員7人が参加し、山神社の社殿の雪囲いを行いました。作業終了、蔵王猿倉レストハウスに移動して役員会を開催。資料館の二期工事として計画している教室棟の建設問題を協議しました。

「蔵王鉱山の思い出」（第1集）の購入申込み要領

- 販売価格 1冊 1,500円
- 注文方法
○ ゆうちょ銀行口座から振り込む場合は、
記号 18590 番号 25347091
口座名 ザオウコウザンノレキシヨカタリツグカイ
○ 他金融機関から振り込む場合は、
「店名」 八五八 「店番」 858
「預金種目」 普通預金 「口座番号」 2534709
に代金を振り込むとともに、同封したハガキに63円切手を貼って郵送してください。
複数部数を注文する場合は、その旨記載していただき、代金も振り込んでいただくをお願いします。（後日、同封ハガキが手元になくなった場合は、通常ハガキを使用し、末尾の問い合わせ先まで送付ください。）
- 送付
NPO法人事務局では、振り込みとハガキを受け取り次第速やかに、注文者に日本郵便の「レターパックライト370」を利用し送付します。
- 問い合わせ先
問い合わせは、下記の事務局にしてください。
〒999-3103 山形県上山市金谷530
高橋正之方 ☎023-679-2435



「思い出集」の販売

NPO法人では、蔵王鉱山歴史資料館の開館に当たり、「蔵王鉱山の思い出」（第1集）（150頁）を発刊しました。初回は50部を発行し、開館式に出席いただいた来賓の方々に贈呈したほか、上山図書館に寄贈し市民の閲覧に供しました。また資料館に展示し、来館者に1冊500円で販売し、この程完売しました。
同思い出集は、今後増刊する予定です。購入を希望する方は、末尾の「蔵王鉱山の思い出」（第1集）の購入申込み要領」によってご注文ください。

編集後記

◆ 待望の資料館が開館しました。新聞、テレビそれに市役所の市報で取り上げていただいたこともあって、来館者が相次ぎました。多くは、鉱山関係者でしたが、地元の郷土史研究会や観光案内ボランティア、公民館の行事参加者、それに歴史に興味があるという山医大生や児童居住の高齢者もおりました。休館後も問い合わせが続いています。来春が楽しみです。

◆ コロナ禍が未だ終息をみません。首都圏では連日数百人の感染者が出ています。県内でも一日二桁台の感染者が出る日もあります。マスク、手洗いを心がけ、密着しての催しには細心の注意を払いたいものです。ワクチン、治療薬が待たれます。

◆ 本号は、開館、芋煮会等、資料館がらみの行事を特集しようと思ひ、こんな時期になつてしまひました。遅くなつてしまつたことをお詫びいたします。法人は、財政事情がピンチです。次号は年度末までに何とか出せないか、努力してみたいと思います。良いお年を！（高橋記）

